

新たな患者推計及び病床確保計画等について

1 新たな「流行シナリオ」に基づく患者推計

「今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について」（令和2年6月19日付け厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡）で国から示された、新たな「流行シナリオ」を基に、本県の患者推計を行ったもの。本県の実態に近いモデルとして次の3つの条件を設定して推計した。

推計モデル	高齢者群中心モデル（地方型）
社会への協力要請前の 実効再生産数	1.7（基本） ※実際に東京で3月に観察された実効再生産数は1.7
社会への協力要請の タイミング	基準日から3日（基本） ※基準日：患者数が10万人当たり2.5人/週に達した日

2 患者推計の結果

推計最大療養者数（患者総数）	669人
うち 入院患者数	442人（うち重症者数：63人）
うち 宿泊療養者数	227人
推計最大新規感染者数／日	52人
推計最大新規感染者数／週	354人

3 病床及び宿泊療養施設の確保計画について

算出した患者推計を踏まえ、感染のピークに至るまでの期間について段階的なフェーズを設定。本県では、「みやぎアラート」のレベル切り替えのタイミングとフェーズの切り替えのタイミングが連動するように設定。

フェーズごとに確保が必要な、即応病床数（患者の即時受入が可能な病床）と宿泊療養施設の居室数を設定した（別紙）。

フェーズ	即応病床数	宿泊療養施設（居室）数
フェーズ1	29床（重症2床）	100室
フェーズ2	50床（重症7床）	100室
フェーズ3	100床（重症10床）	200室
フェーズ4	450床（重症65床）	300室